

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	川崎港コンテナターミナル関連施設	評価対象年度	平成26年度
事業者名	・事業者名 川崎臨港倉庫埠頭株式会社 ・代表者名 永野 幸三 ・住所 川崎市川崎区千鳥町7-1	評価者	樋口担当課長
指定期間	平成26年4月1日～平成29年3月31日	所管課	港湾局川崎港管理センター港営課

2. 事業実績

利用実績	・専用荷さばき地(1級) 2件 ・一般荷さばき地(1級) 2,181件 ・専用荷さばき地(2級) 1件 ・一般荷さばき地(2級) 89件 ・冷凍用コンセント 2,276件 ・ガントリークレーン 719件 ・トランスファークレーン 1,336件 ・1級事務所 8件 ・荷役機械置場 1件 ・ゲート関連施設 1件 ・メンテナンスショップ 1件 ・シャワー置場 2件 ・駐車場施設 10件
収支実績	・収入額(指定管理料) 59,078,000円(計画額 59,078,000円) ・支出額 55,405,000円(計画額 59,078,000円) ※施設使用料※185,083,878円(平成25年度 163,695,264円) →差額:21,388,614円 の収入増
サービス向上の取組	・施設利用者との会議等を随時開催し、意見・要望等の把握 ・指定管理者ならではの迅速な施設の維持補修の実施 ・新たな航路誘致に向けたポートセールス

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
利用者満足度	利用者満足度	利用者満足度調査を適切に実施しているか	10	3	6
		利用者満足度は向上しているか			
		調査結果の分析を行い、満足度向上のための具体的な取組に反映しているか			
	事業成果	事業実施による自己評価を行っているか	13	4	10.4
		当初の事業目的を達成することができたか			
(評価の理由) 【利用者満足度】 ・利用者調整会議、ターミナルオペレーターとの調整会議を定期的に開催したほか、随時利用者から直接、意見・要望の収集・把握を行った。 ・指定管理者のターミナルの運営に関しては苦情等を受けていない。 ・利用者からの意見・要望は内容ごとに整理し、会社内の共通課題として情報共有を行った。 【事業成果】 ・業務の履行やサービスについてモニタリングチェックシートを用いた自己評価を毎月必ず実施し、業務やサービスの内容について確認をした。 ・コンテナ貨物量及び施設使用料収入の増加が示すとおり、前年度と比べ施設利用の拡大がなされた。 ・コンテナ定期航路が新たに3航路開設され、今後更なるコンテナ貨物量の増加が期待できる。					
収支計画・実績	効率的・効果的な支出	計画に基づく適正な支出が行われているか	6	3	3.6
		支出に見合う効果は得られているか			
		効率的な執行等、経費縮減の具体的な取組は為されたか			
	収入の確保	計画どおりの収入が得られているか	8	4	6.4
		収入増加のための具体的な取組が為されているか			
適切な金銭管理・会計手続	指定管理経費とその他業務に係る経理を区分し、適切に管理しているか	5	3	3	
	事業収支に関して適正な会計処理が為されているか				
(評価の理由) 【効率的・効果的な支出】 ・収支計画に基づき適正な執行がなされた。 ・再委託業務や軽易工事は原則として価格競争による業者選定を行い、経費削減に努めた。 【収入の確保】 ・コンテナ貨物量の増加に伴い、施設使用料収入が前年度比で約13%増加し、本市の歳入増に貢献した。 ・管理棟及び駐車場の未利用区画について積極的に利用促進を図り、収入増が図られた。 【適切な金銭管理・会計手続】 ・指定管理者の社内規程に基づき、適切な金銭管理及び会計手続がなされた。					

サービス向上及び業務改善	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	12	4	9.6
		サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか			
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか			
	業務改善によるサービス向上	業務改善が必要な場合に、現状分析、課題把握、改善策の検討と実施が行われているか	5	3	3
		業務改善の取組によって具体的な効果があらわれたか			
	利用者の意見・要望への対応	利用者ニーズの把握に努め、それを事業や管理に反映させる取組がなされているか	10	4	8
利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか					
<p>(評価の理由)</p> <p>【適切なサービスの提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・所管課との定例会議により、利用者に対し適切にサービスが提供されていることを確認した。 ・施設が適切に利用されているか監督を行っており、駐車場の不適切利用があったときには利用者に対し指導を行った。 ・ホームページのリニューアルにより、川崎港コンテナターミナルの情報や各種申請書の様式を掲載し利用者に対する利便性が向上した。 <p>【業務改善によるサービス向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の意見を聞きながらゲート利用時間の拡大等について検討を行った。 <p>【利用者の意見・要望への対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者調整会議を通じて把握した意見・要望については社内でも共有するとともに改善策の検討を行った。 ・改善策については、ユーザー視点に立って検討を行い、施設改修等について市への確かな意見提案があった。 					
組織管理体制	適正な人員配置	必要な人員(人数・有資格者等)が必要な場所に適切に配置されているか	5	4	4
	連絡・連携体制	定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか	3	3	1.8
	安全・安心への取組	事件・事故、犯罪、災害から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	5	4	4
		緊急時に警察や消防など関係機関と速やかに連携が図れるよう、連絡体制を構築し、定期的に情報交換等を行っているか			
	コンプライアンス	個人情報保護、その他の法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	3	3
	職員の労働条件・労働環境	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか			
環境負荷の軽減	環境に配慮した調達や業務実施が行われているか	3	3	1.8	
<p>(評価の理由)</p> <p>【適正な人員配置】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕様書に基づき適切な人員配置が行われた。 ・他港でコンテナターミナルのオペレーション実績がある株主企業から職員(課長職)1名を派遣いただき、当該職員の経験や能力を活用した営業活動等が行われた。 ・本社管理部による支援体制を確立し、ターミナル運営事業部社員が出張・休暇等の際には管理部からの人員派遣による窓口対応を行った。 <p>【連絡・連携体制】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・所管課をはじめ関係者と随時連絡調整を行い、十分な連携のもとに事業を行った。 <p>【担当者のスキルアップ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内部学習会の実施、外部研修への派遣により業務知識の習得に努めた。 <p>【安全・安心への取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事故発生等、緊急時においても速やかに対応ができるよう事故対応マニュアル及び緊急連絡網の整備を行った。 ・毎月1回、ターミナルオペレーターと合同で安全パトロールを行ったほか、ターミナル巡回の際に施設・設備を点検し、事故の未然防止に努めた。 ・平成26年度は4件の事故が発生したが、いずれも適切な対応がとられた。また、事故後においては、関係者により再発防止に向けた協議を行った。 <p>【コンプライアンス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人情報保護、その他の法令を遵守し、適正な管理運営がなされている。 <p>【職員の労働条件・労働環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・労働条件については社内規程に基づき適切な労働条件や労働環境が整備されている。 <p>【環境負荷の軽減】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理棟の入居事業者も含め、節電・節水や廃棄物の分別収集を行った。 					

適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	10	3	6
	管理記録の整備・保管	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか			
	清掃業務	施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか			
	外構・植栽管理	外構の植栽を適切に管理(草刈、剪定、害虫駆除等)しているか			
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか			
<p>(評価の理由)</p> <p>【施設・設備の保守管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設の維持補修、軽易工事については緊急性、安全性、費用対効果を考慮し、優先順位をつけて効果的に執行した。(平成26年度実績:31件) 巡回等により施設・設備の点検を行い、損傷が早期のうちに修繕工事を行うことで修繕にかかる経費の軽減をした。 <p>【管理記録の整備・保管】</p> <ul style="list-style-type: none"> 業務日誌のほか各種管理記録は適切に整理・保管されている。 <p>【清掃業務、外溝・植栽管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> 清掃、外溝・植栽管理は再委託業者により適切に行われ、指定管理者による適切な履行確認が行われた。 <p>【備品管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> 備品は管理区分ごとに適切な管理が行われている。 					

4. 総合評価

評価点合計	70.6	評価ランク	B
-------	------	-------	---

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

平成26年度は川崎港コンテナターミナルへの指定管理者制度の導入初年度であったが、指定管理者による十分な事前準備が行われたことや、社内の支援体制を確立したことから、業務開始からトラブルもなく、円滑かつ効率的にターミナルの管理運営を行うことができた。特に、年度後半に予想を超えて取扱貨物量が急増した時期があったが、日頃から利用者との連絡・連携体制を築いていたため、円滑に対応することができた。

また、ポートセールスについては、指定管理者の営業企画戦略室が独自に、又は川崎港戦略港湾推進協議会との連携により行なわれたが、平成26年度に新規外航航路が3航路開設し、コンテナ貨物量が前年度比34%増と大幅に増加したことにより、川崎港の活性化に大きく寄与したことは高く評価することができる。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

- 引き続き、新たな航路誘致や荷主の獲得に向けたポートセールスの取組を推進する。
- 平成27年度においてもコンテナ貨物量の大幅な増加が見込まれているため、荷さばき地等を効率的に利用できるよう利用者と調整を図る。また、貨物量の増加に伴い利用者から新たに要望が出される場合もあり、市及び関係者と調整をした上で適切な対応を行う。
- ターミナル内で荷さばき地の整備工事が予定されているため、工事中において安全を確保しながら荷役作業への影響を最小限にするため、市、施工業者及び利用者調整を図る。
- ターミナルの設備の経年劣化に伴い設備の更新を計画的に行う必要があるため、施設の維持補修にあたっては、市と協議の上、執行する。
- ターミナルがより市民に親しまれるような見学等の事業検討を行うこと。